

主要産地における令和4年産水稲の生育状況等について 第14報 (令和4年9月2日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和4年9月2日)

道府県	生育状況等 (参考)		(参考)	
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等	技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体、気象台等公表資料の抜粋)	令和4年度の品種構成等の情報
北海道	(生育・作柄)	<p>【生育状況 (8月15日現在)】                      (全道) 生育は平年並に進んでいる。(北海道農政部 8月19日付)                      (空知) 生育は平年並である。(空知総合振興局 8月19日付)                      (石狩) 生育は概ね順調。(石狩振興局 8月19日付)                      (後志) 遅速は平2日。(後志総合振興局 8月19日付)                      (胆振) 生育は平年並。(胆振総合振興局 8月19日付)                      (日高) 出穂・開花時期の高湿により、生育は平年並に進んでいる。(日高振興局 8月19日付)                      (渡島) 生育は平年並に進んでいる。(渡島総合振興局 8月19日付)                      (樺山) 生育は概ね平年並で推移。(樺山振興局 8月19日付)                      (上川) 生育は平年並に進んでいる(水稲もち)。生育はやや早く進んでいる(水稲もち)。(上川総合振興局 8月19日付)                      (留萌) 生育は平年並に進んでいる。(留萌振興局 8月19日付)                      (オホーツク) 生育は平年よりやや遅れている。(オホーツク総合振興局 8月19日付)</p> <p>・作柄の良否 (8月15日現在) 平年並。                      (農林水産省 8月31日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】                      北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。                      降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。                      (気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】                      北海道地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。                      降水量は、ほぼ平年並の見込み。                      (気象庁札幌管区気象台)</p> <p>向こう1か月、斑点米<sup>かみ</sup>の発生が「多い」と予想される。                      (農林水産省 8月10日付)</p>	<p>・「ななつぼし」及び「ゆめりか」を中心とする品種構成となっており、主要品種に大きな変化はみられない。                      (農林水産省 3月16日)                      (出典資料は以下同じ)</p>
青森	(生育・作柄)	<p>・8月10日現在の水稲出穂状況は、県全体で98%となっており、平年より4ポイント高かった。                      ・県全体の出穂終わりは、平年より2日早い8月9日であった。                      (青森県 8月12日付)</p> <p>・作柄の良否 (8月15日現在) やや不良。                      (農林水産省 8月31日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】                      東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。                      降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。                      (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】                      東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。                      降水量は、ほぼ平年並の見込み。                      (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>向こう1か月、セジロウカ、斑点米<sup>かみ</sup>、いもち病の発生が「多い」と予想される。                      (農林水産省 8月10日付)</p>	<p>・「つがるロマン」及び「まっくら」の2品種で9割を占める品種構成で、近年、収量水準の高い「まっくら」が増加傾向にあり、令和4年度も同様の傾向になるものと考えられる。</p>
岩手	(生育・作柄)	<p>・出穂盛期は県全体で平年並の8月5日頃となったが、6月上旬の低温による生育停滞が顕著であった圃場においては出穂がやや遅れる傾向がみられ、北上川下流では終期が平年より2日程度遅くなった。(岩手県 8月25日付)</p> <p>・作柄の良否 (8月15日現在) 平年並。                      (農林水産省 8月31日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】                      東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。                      降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。                      (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】                      東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。                      降水量は、ほぼ平年並の見込み。                      (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>向こう1か月、セジロウカ、斑点米<sup>かみ</sup>、いもち病の発生が「多い」と予想される。                      (農林水産省 8月10日付)</p>	<p>・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっており、県のオリジナル品種である「銀河のしずく」が、耐寒性、耐病性に優れていることから増加傾向となっている。</p>
宮城	(生育・作柄)	<p>・令和4年産米の登熟は順調に進んでいる。                      ・本年の出穂期は8月3日で、平年より1日遅くなった。8月3日に出穂期を迎えた北部平坦地帯における中生品種(「ひとめぼれ」等)の刈取適期は9月13日頃から9月22日頃となる見込み。(宮城県 8月31日付)</p> <p>・作柄の良否 (8月15日現在) やや良。                      (農林水産省 8月31日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】                      東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。                      降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。                      (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】                      東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。                      降水量は、ほぼ平年並の見込み。                      (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>向こう1か月、セジロウカ、斑点米<sup>かみ</sup>、いもち病の発生が「多い」と予想される。                      (農林水産省 8月10日付)</p>	<p>・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。</p>
秋田	(生育・作柄)	<p>(北秋田) 刈り取り適期の判定における日平均気温の積算気温は、ほぼ平年並であるが、本年は日照不足であるため、登熟後の積算日照時間を考慮すると、積算気温より2～4日程度遅く見込まれる。(秋田県 9月2日付)</p> <p>【定点調査結果 (8月19日調査)】                      ・「あきたこまち」(県内64地点)は、出穂期8月1日(平年差-1日)、㎡当たり穂数399本(平年比88%)、1穂当たり着粒数82.5粒(同114%)、㎡当たり粒数32.8千粒(同100%)であった。                      ・「ひとめぼれ」(8地点)は、出穂期8月3日(平年差-1日)、㎡当たり穂数493本(平年比99%)、1穂当たり着粒数75.0粒(同110%)、㎡当たり粒数36.7千粒(同109%)であった。                      ・「あきたこまち」の出穂は、ほぼ平年並となった。全農民的に穂数が平年より少なくなったが、1穂当たり着粒数が平年より多くなったため、㎡当たり粒数は、平年並となった。(秋田県 8月25日付)</p> <p>・作柄の良否 (8月15日現在) やや不良。                      (農林水産省 8月31日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】                      東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。                      降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。                      (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】                      東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。                      降水量は、ほぼ平年並の見込み。                      (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>向こう1か月、セジロウカ、斑点米<sup>かみ</sup>、いもち病の発生が「多い」と予想される。                      (農林水産省 8月10日付)</p>	<p>・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。</p>
山形	(生育・作柄)	<p>・県全体の出穂盛期は8月5日頃で、平年より1日早くなった。(山形県 8月24日付)</p> <p>・作柄の良否 (8月15日現在) やや良。                      (農林水産省 8月31日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】                      東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。                      降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。                      (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】                      東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。                      降水量は、ほぼ平年並の見込み。                      (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>向こう1か月、斑点米<sup>かみ</sup>の発生が「多い」と予想される。                      (農林水産省 8月10日付)</p>	<p>・「えぬめき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている新品種「雪若丸」は増加傾向にある。</p>
福島	(生育・作柄)	<p>【8月2日現在】(農業総合センターの作柄解析試験)                      ・農業総合センターの生育調査における「ひとめぼれ」の出穂期は、本部(郡山市)が8月2日時点で未達、会津地域研究所(会津坂下町)が3日遅れ、浜地域研究所(相馬市)が1日遅れとなっている。                      (福島県 8月10日付)</p> <p>・作柄の良否 (8月15日現在) 平年並。                      (農林水産省 8月31日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】                      東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。                      降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。                      (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】                      東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。                      降水量は、ほぼ平年並の見込み。                      (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>向こう1か月、斑点米<sup>かみ</sup>の発生が「多い」と予想される。                      (農林水産省 8月10日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い「天のつぶ」が増加していたが、飼料米への転換が増加していることから比率はやや低下している。</p>
茨城	(生育・作柄)	<p>【8月26日現在、龍ヶ崎市 (4月27日移植)】                      ・「あきたこまち」及び「ふくまる SL」について、倒伏程度が大きかったことから、登熟期間は「あきたこまち」で平年より3日長く、「ふくまる SL」で平年より2日長かった。このため、成熟期は「あきたこまち」で平年より3日遅い8月22日、「ふくまる SL」で3日遅い8月26日だった。                      ・今後気温が平年並に推移した場合、登熟積算気温に基づく「コシヒカリ」の成熟期は、平年より3日早い8月29日と予測される。                      (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 9月1日付)</p> <p>【5月6日移植】                      ・今後気温が平年並に推移した場合、登熟積算気温に基づく成熟期は「コシヒカリ」では平年より3日早い9月4日と予測される。</p> <p>・作柄の良否 (8月15日現在) やや良。                      (農林水産省 8月31日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】                      関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。                      降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。                      (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】                      関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。                      降水量は、ほぼ平年並の見込み。                      (気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年多様な多収米への作付け推移が進んでいる。</p>

栃木	<p>(生育・作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培「コシヒカリ」</li> <li>・出穂期の平均は7月27日と平年より2日、前年より1日早かった。</li> <li>・普通稲栽培「とちぎの星」</li> <li>・8月3日の調査時の草丈は前年比 104～111%と高かった。茎数は 78～84%と少なく、葉色(葉色板)は+0.2～+1.5 濃く、生育診断値(葉色×茎数)は 90～119%だった。(栃木県農政部長官技術課 8月25日付)</li> <li>・作柄の良否(8月15日現在) やや良。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「とちぎの星」が増加傾向にある。</li> </ul>
千葉	<p>(作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作柄の良否(8月15日現在) 平年並。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」「ふさこがね」及び「ふさおとめ」を中心とする品種構成となっている。令和2年産から新品種「粒すけ」の本格栽培が開始</li> </ul>
新潟	<p>(生育・作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(佐 渡) コシヒカリの出穂期は平年に比べ2日程度早く(8月5日頃)、収穫適期も平年に比べ4～5日程度早まる見込み。(佐渡農業普及指導センター 9月1日付)</li> <li>・作柄の良否(8月15日現在) 平年並。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月、7月7日頃、斑点米がみ、紋枯病の発生が「多い」と予想される。(農林水産省 8月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」及び「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少し、収量水準の高い「ゆきん子舞」「つきあかり」及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助」(晩生種)の作付拡大を推奨している。</li> </ul>
富山	<p>(作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作柄の良否(8月15日現在) 平年並。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月、7月7日頃、斑点米がみ、紋枯病の発生が「多い」と予想される。(農林水産省 8月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、近年高温多湿でも品質が安定している「てんこもり」及び「てんたくく」県のトップブランドに位置づけている「富山高」が増加傾向にある。</li> </ul>
石川	<p>(作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作柄の良否(8月15日現在) やや良。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月、7月7日頃、斑点米がみ、紋枯病の発生が「多い」と予想される。(農林水産省 8月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」及び「ゆめみづほ」を中心とする品種構成であるが、近年、県オリジナル新品種の「ひやくまん粒」が増加傾向にある。</li> </ul>
福井	<p>(生育・作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨や曇りが多いため、登熟が平年より緩やかに進んでいる。(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 8月30日付)</li> <li>・作柄の良否(8月15日現在) やや良。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月、7月7日頃、斑点米がみ、紋枯病の発生が「多い」と予想される。(農林水産省 8月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」及び「ハナエチゼン」を中心とする品種構成である。なお、新品種である「いちほまれ」が増加傾向にある。</li> </ul>
長野	<p>(生育・作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【水稲の刈り取り開始予測】</li> <li>・平坦地(5月初旬頃)「コシヒカリ」の刈り取り開始時期は9月初旬からが予想されている。また早生品種の刈り取り開始時期は8月25日頃からが予想されている。(松本農業農村支援センター 8月16日付)</li> <li>・作柄の良否(8月15日現在) 平年並。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>向こう1か月、いもち病の発生が「多い」と予想される。(農林水産省 8月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種「風さやか」の導入を推進している。</li> </ul>
滋賀	<p>(生育・作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【農業技術振興センター 水稲作況調査】</li> <li>・「みずかがみ」「コシヒカリ」の登熟は、7月下旬～8月中旬の好天により順調に進んでいる。</li> <li>・「みずかがみ」の成熟期は、平年よりやや早い見込み。</li> <li>・県内ほぼ全域の5月上旬移穂「みずかがみ」では、8月23日頃に成熟期を迎える見込み。(滋賀県農業技術振興センター 8月22日付)</li> <li>・作柄の良否(8月15日現在) 平年並。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>向こう1か月、7月7日頃、斑点米がみ、いもち病、縞葉枯病の発生が「多い」と予想される。(農林水産省 8月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「日本晴」及び「みずかがみ」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿性に優れた「みずかがみ」の作付が推進されている。</li> </ul>

兵 庫	<p>【8月1日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東南部の極早生品種の「キヌヒカリ」、「どんとこい」では、草丈が平年並～やや短く、莖数は多い。一方、普通期の「ヒノヒカリ」、「きぬむすめ」では、草丈は平年に比べて短く、莖数は「ヒノヒカリ」で極めて多く、「きぬむすめ」でかなり多い。</li> <li>・県北部では、草丈はやや短く、莖数は極めて多い。出穂は「コシヒカリ」で平年よりやや早くなる見込みである。(兵庫県 8月5日付)</li> </ul> <p>(生育・作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作柄の良否 (8月15日現在) 平年並。 (農林水産省 8月31日付)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>向こう1か月、777°030'N、斑点米がらみ、いもち病、綿葉枯病の発生が「多い」と予想される。(農林水産省 8月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」及び「山田錦」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付拡大を推進している。</li> </ul>
岡 山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イネ(晩生種)の生育は平年並である。(岡山県病害虫防除所 8月30日付)</li> </ul> <p>(生育・作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作柄の良否 (8月15日現在) 平年並。 (農林水産省 8月31日付)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>向こう1か月、斑点米がらみ、いもち病、紋枯病の発生が「多い」と予想される。(農林水産省 8月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アケボノ」、「ヒノヒカリ」、「あきたこまち」及び「きぬむすめ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。</li> </ul>
広 島	<p>【8月2日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼穂形成期は「あきたこまち」は前年並であったが、「コシヒカリ」は平年より早く、「あきるまん」「中生新千本」「ヒノヒカリ」は前年または平年より遅かった。また、出穂期は「コシヒカリ」が既に迎えているが、平年並であった。(広島県総合技術研究所農業技術センター 8月2日付)</li> </ul> <p>(生育・作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作柄の良否 (8月15日現在) 平年並。 (農林水産省 8月31日付)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>向こう1か月、斑点米がらみ、いもち病、紋枯病の発生が「多い」と予想される。(農林水産省 8月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」、「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。</li> </ul>
愛 媛	<p>【8月1日現在】(愛媛県農林水産研究所内水田ほ場)</p> <p>(早期)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あきたこまち」の出穂期は平年より2日早く、「コシヒカリ」の出穂期は平年と同じであった。</li> <li>・莖数は両品種とも平年よりかなり多かった</li> </ul> <p>(普通期)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移植40日後の草丈は「あきたこまち」「ヒノヒカリ」「にこまる」で平年より高かった。</li> <li>・莖数は「ヒノヒカリ」「にこまる」「ひめの凛」で平年より多く、葉色は「あきたこまち」「ヒノヒカリ」「にこまる」で平年より濃かった。 (愛媛県農林水産研究所 8月9日付)</li> </ul> <p>(生育・作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作柄の良否 (8月15日現在) やや良。 (農林水産省 8月31日付)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月、777°030'N、斑点米がらみ、いもち病、綿葉枯病、紋枯病の発生が「多い」と予想される。(農林水産省 8月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」への品種変更が定着している。</li> </ul>
高 知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通期稲の生育ステージ：穂ばらみ期～糊熟期。 (高知県環境農業推進課・農業イノベーション推進課 8月29日付)</li> </ul> <p>(生育・作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作柄の良否(普通栽培) 平年並。 (農林水産省 8月31日付)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月、777°030'N、斑点米がらみ、いもち病、綿葉枯病、紋枯病の発生が「多い」と予想される。(農林水産省 8月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。</li> </ul>
福 岡	<p>【8月19日現在】</p> <p>【早期水稲(「夢つくし」、「コシヒカリ」)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月中下旬の「夢つくし」「コシヒカリ」の成熟期は平年に比べて早く、収穫は8月8日頃から開始され、8月15日から収穫作業が本格化している。</li> <li>・穂数が平年より多く、収量は平年並～やや多いと見込まれるが、登熟期が高温で経過したため、白未熟粒の発生が前年より多い見込み。</li> <li>・また、イネカメムシによる吸汁害の発生も一部で見られ、収量及び品質の低下が懸念される。</li> </ul> <p>(生育・作柄)</p> <p>【普通期水稲(「夢つくし」、「元気つくし」、「ヒノヒカリ」など)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出穂期は、6月10日種「夢つくし」が8月6日、6月中旬種「元気つくし」が8月17日頃で、平年より2日程度早い。</li> <li>・トビイロウンカ、コブメカイガの発生は平年より少ないが、葉いもちやイネカメムシの発生は一部地域でやや多い。</li> <li>・「夢つくし」の成熟期は、平年よりやや早くになると予想され、収穫は9月中旬が最盛期となる見込み。 (福岡県農林業総合試験場 8月24日付)</li> </ul> <p>(生育・作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作柄の良否 (8月15日現在) やや不良。 (農林水産省 8月31日付)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 九州北部地方の3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「ヒノヒカリ」が増加傾向となり、「夢つくし」が増加傾向となっている。なお、県では今後新種「実つくし」の拡大を推奨している。</li> </ul>
熊 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作柄の良否 (8月15日現在) 平年並。 (農林水産省 8月31日付)</li> </ul> <p>(作柄)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 九州北部地方の3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒノヒカリ」「森のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。「くまさんの輝き」はリーディング品種として取扱いが年々拡大している。</li> </ul>
宮 崎	<p>【生育状況(8月上・中旬)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通期水稲は幼穂伸長期～穂ばらみ期(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 8月25日付)</li> </ul> <p>(生育・作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作柄の良否(普通栽培) (8月15日現在) やや不良。 (農林水産省 8月31日付)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みそ358」への作付誘導が進められている。</li> </ul>
鹿 児 島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作柄の良否(普通栽培) (8月15日現在) 平年並。 (農林水産省 8月31日付)</li> </ul> <p>(作柄)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月3日～10月2日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培は「コシヒカリ」普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収量水準の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。</li> </ul>

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。  
注2：令和4年9月2日 12時時点での取り纏め。  
注3：更新箇所は赤字で示した。

引用資料:

農作物の生育状況 8月15日現在(北海道農政部 8月19日)、  
農作物生育状況 8月15日現在(北海道空知総合振興局 8月19日)、  
農作物の生育状況 8月15日現在(北海道石狩振興局 8月19日)、  
農作物の生育状況 8月15日現在(北海道後志総合振興局 8月19日)、  
農作物の生育状況 8月15日現在(北海道胆振総合振興局 8月19日)、  
農作物の生育状況 8月15日現在(北海道日高振興局 8月19日)、  
農作物の生育状況 8月15日現在(北海道渡島総合振興局 8月19日)、  
農作物の生育状況 8月15日現在(北海道檜山振興局 8月19日)、  
農作物の生育状況 8月15日現在(北海道上川総合振興局 8月19日)、  
農作物生育状況調査の概要(令和4年8月15日現在)(北海道留萌振興局 8月19日)、  
農作物の生育と農作業の進捗状況 8月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 8月19日)、  
8月10日現在水稲出穂状況(青森県「攻めの農林水産業」推進本部 8月12日)、  
農作物技術情報第6号水稲(岩手県 8月25日)、  
令和4年度宮城県米づくり推進本部情報第2号(宮城県 8月31日)、  
作況ニュース第7号(秋田県 8月25日)、  
こまちチャンネル<http://www.e-komachi.jp/>(9月2日閲覧)、  
当面の技術対策(9月)(山形県農林水産部 8月24日)、  
主要な農作物の生育情報令和4年度第5号(福島県農林水産部 8月10日)、  
農研連報(茨城県農業総合センター 農業研究所 9月1日)、  
令和4(2022)年度水稲生育診断予測事業速報No.7(栃木県 8月25日)、  
令和4年度稲作生育速報No.8(佐渡農業普及指導センター 9月1日)、  
稲作情報No.15(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 8月30日)、  
令和4年作物技術普及情報第16号(松本農業農村支援センター 8月16日)、  
令和4年度水稲生育診断情報No.5(滋賀県農業技術振興センター 8月22日)、  
令和4年度兵庫県農業気象技術情報第4号(8月情報)(兵庫県 8月5日)、  
令和4年度の水稲の生育状況(8月2日時点)(広島県総合技術研究所農業技術センター 8月2日)、  
令和4年度病害虫発生予報第6号(岡山県 8月30日)、  
2022年産水稲の生育状況(愛媛県農林水産研究所 8月9日)、  
農作物の被害予想と対策(台風11号)(高知県環境農業推進課・農業イノベーション推進課 8月29日)、  
福岡県の主な農産物の生産状況令和4年8月19日現在(専技情報より抜粋)(福岡県農業総合試験場 8月24日)、  
令和4年度病害虫発生予報第5号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 8月25日)、

北海道地方向こう1か月の天候の見通し(9月1日気象庁札幌管区気象台)、東北地方向こう1か月の天候の見通し(9月1日気象庁仙台管区気象台)、関東甲信地方向こう1か月の天候の見通し(9月1日5  
北陸地方向こう1か月の天候の見通し(9月1日気象庁新潟地方気象台)、近畿地方向こう1か月の天候の見通し(9月1日気象庁大阪管区気象台)、  
中国地方向こう1か月の天候の見通し(9月1日気象庁広島地方気象台)、四国地方向こう1か月の天候の見通し(9月1日気象庁高松地方気象台)、  
九州北部地方向こう1か月の天候の見通し(9月1日気象庁福岡管区気象台)、九州南部・奄美地方向こう1か月の天候の見通し(9月1日気象庁鹿児島地方気象台)、

北海道地方向こう3か月の天候の見通し(8月23日気象庁札幌管区気象台)、東北地方向こう3か月の天候の見通し(8月23日気象庁仙台管区気象台)、関東甲信地方向こう3か月の天候の見通し(8月2  
北陸地方向こう3か月の天候の見通し(8月23日気象庁新潟地方気象台)、近畿地方向こう3か月の天候の見通し(8月23日気象庁大阪管区気象台)、  
中国地方向こう3か月の天候の見通し(8月23日気象庁広島地方気象台)、四国地方向こう3か月の天候の見通し(8月23日気象庁高松地方気象台)、  
九州北部地方向こう3か月の天候の見通し(8月23日気象庁福岡管区気象台)、九州南部・奄美地方向こう3か月の天候の見通し(8月23日気象庁鹿児島地方気象台)、

令和4年産水稲の8月15日現在における作柄概況(農林水産省 8月31日)、  
令和4年度 病害虫発生予報第6号(農林水産省 8月10日)、  
令和4年産水稲の10a当たり平均収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月16日)

## 気象概況

### 北日本太平洋側 7日ごとの値

令和4年 月/日	平均気温	降水量	日照時間
	平年差(°C)	平年比(%)	平年比(%)
7/26～8/1	2.1	104	137
7/27～8/2	2.0	162	126
7/28～8/3	1.6	228	113
7/29～8/4	1.1	241	98
7/30～8/5	0.6	229	90
7/31～8/6	▲ 0.1	224	79
8/1～8/7	▲ 0.7	222	62
8/2～8/8	▲ 0.3	197	64
8/3～8/9	0.1	172	64
8/4～8/10	0.5	123	68
8/5～8/11	1.1	145	72
8/6～8/12	1.7	183	72
8/7～8/13	2.3	197	72
8/8～8/14	2.5	213	79
8/9～8/15	2.2	202	82
8/10～8/16	1.9	255	77
8/11～8/17	1.8	231	102
8/12～8/18	1.3	258	94
8/13～8/19	1.0	226	105
8/14～8/20	0.8	215	97
8/15～8/21	0.9	194	117
8/16～8/22	0.9	166	134
8/17～8/23	1.0	87	136
8/18～8/24	1.1	84	132
8/19～8/25	1.1	25	147
8/20～8/26	1.0	20	124
8/21～8/27	1.0	45	120
8/22～8/28	0.6	79	89
8/23～8/29	0.3	78	87
8/24～8/30	▲ 0.3	88	81
8/25～8/31	▲ 0.6	166	56

### 北日本日本海側 7日ごとの値

令和4年 月/日	平均気温	降水量	日照時間
	平年差(°C)	平年比(%)	平年比(%)
7/26～8/1	1.6	80	139
7/27～8/2	1.5	100	119
7/28～8/3	1.3	163	108
7/29～8/4	1.1	169	104
7/30～8/5	0.8	167	108
7/31～8/6	0.4	164	96
8/1～8/7	0.1	174	92
8/2～8/8	0.3	196	93
8/3～8/9	0.6	273	95
8/4～8/10	0.8	230	95
8/5～8/11	1.1	259	95
8/6～8/12	1.5	295	86
8/7～8/13	1.8	312	81
8/8～8/14	1.9	327	82
8/9～8/15	1.5	282	83
8/10～8/16	1.2	304	77
8/11～8/17	1.1	286	94
8/12～8/18	0.6	286	80
8/13～8/19	0.3	249	92
8/14～8/20	0.1	251	82
8/15～8/21	0.1	225	96
8/16～8/22	0.3	180	114
8/17～8/23	0.5	78	118
8/18～8/24	0.4	76	112
8/19～8/25	0.4	40	128
8/20～8/26	0.4	43	110
8/21～8/27	0.5	40	111
8/22～8/28	0.2	48	89
8/23～8/29	▲ 0.1	48	81
8/24～8/30	▲ 0.6	40	80
8/25～8/31	▲ 0.6	99	64

### 東日本日本海側 7日ごとの値

令和4年 月/日	平均気温	降水量	日照時間
	平年差(°C)	平年比(%)	平年比(%)
7/26～8/1	1.9	6	147
7/27～8/2	2.2	5	147
7/28～8/3	2.3	37	142
7/29～8/4	1.8	250	124
7/30～8/5	1.5	302	119
7/31～8/6	1.3	301	111
8/1～8/7	1.1	296	105
8/2～8/8	1.1	287	100
8/3～8/9	1.1	276	96
8/4～8/10	1.3	228	97
8/5～8/11	2.0	44	109
8/6～8/12	2.5	7	99
8/7～8/13	2.5	76	91
8/8～8/14	2.2	158	76
8/9～8/15	1.9	180	63
8/10～8/16	1.5	249	51
8/11～8/17	0.9	266	46
8/12～8/18	0.2	358	41
8/13～8/19	▲ 0.3	351	57
8/14～8/20	▲ 0.7	436	45
8/15～8/21	▲ 0.8	376	55
8/16～8/22	▲ 0.7	352	74
8/17～8/23	▲ 0.4	283	82
8/18～8/24	▲ 0.2	266	86
8/19～8/25	▲ 0.3	198	78
8/20～8/26	▲ 0.4	208	59
8/21～8/27	▲ 0.3	71	63
8/22～8/28	▲ 0.6	67	64
8/23～8/29	▲ 1.0	66	62
8/24～8/30	▲ 1.5	99	56
8/25～8/31	▲ 1.0	121	66

#### 注) 気象情報などに用いる地域名(台風情報は除く)

- ・北日本太平洋側： 北海道の太平洋側とオホーツク海側(網走・北見・紋別地方)、東北太平洋側。
- ・北日本日本海側： 北海道の日本海側とオホーツク海側(宗谷南部)、東北日本海側。
- ・東日本日本海側： 北陸地方。